

アルント・バツナー

モビリティ社（スイス） 取締役

ザンクト・ガレン大学システム管理・公共ガバナンス研究所
博士候補生。

米大陸・欧州・中東・アジアにおける輸送設計の諸課題につき
コンサルティング業務を提供している。重点研究分野は、構築
環境内への未来のマルチモード輸送システムの都市型統合、及び
空中連絡通路・索道・人間輸送手段などの高架連結体による非公
式輸送の公式化で、この中には、輸送モードとシェアモードない
し自動化モードとの間での新乗り継ぎ設計に関する考察や、ラス
トマイルでの駅への接続・アクセスに関するソリューションにつ
いての考察を含んでいる。

2015年夏、ヘン建築事務所・設計研究交流事業（ベルリン）で招聘研究員を務め、未来の立体都市に関
する革新的輸送ソリューションを重点研究。スイス連邦工科大チューリヒ校卒のアルントは都市計画の
学際的諸問題に関心が高く、素粒子物理学で修士号を取得しつつ、公共輸送管理を副専攻。2011年秋に
はスイス連邦工科大・未来都市実験室（シンガポール）で客員研究員を努める。

ピアノ・物理学・公共輸送管理を専攻し、クレディスイスで経済研究職、スイスインターナショナルエ
アラインズで企業戦略ポストを歴任。現在は、全スイス・カーシェアリング事業体「モビリティ」非役
員取締役、米ナショナル・アカデミーズ交通運輸研究会議 (TRB) 鉄道輸送システム委員会委員。

